

議会だより 入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

希望の夜明け

12月定例会

平成12年度一般会計補正予算	2
常任委員会レポート	3
一般質問・町政を問う(14議員)	4
町発注工事入札結果表(10月~12月)	19
各種団体・傍聴席からひとこと	20

No.116

2001年1月27日
(平成13年)

発行/入善町議会

編集
入善町議会庶務課長特別委員長
富山県下等国民教育庁入善支庁入善656
☎0765-721100 FAX0765-724711

平成12年度一般会計補正予算 1億5800万円を追加

入善漁港改修事業に1億5045万円

12月議会に提案された、一般会計の補正予算は、国の景気浮揚策に伴う補助金の増額があり、漁港改修事業が完成することになる。
この漁港施設の改修が完了すれば、すでに完成している海洋深層水事業の蓄養施設と連携した活用により、町の漁業への期待が大きくなる。
今回の補正により、町の一般会計の総額は、118億6516万4000円となった。

**漁港改修事業費
1億5045万円**

今回の改修は、旧の西防波堤70mを撤去し、漁港口を広げ大型漁船の出入りにも対応できるようにするものである。また海洋深層水事業の蓄養施設が漁港施設内に完成し、13年9月の取水事業開始とともに、漁船に深層水を積み込み、水揚げされた魚を蓄養することなど、漁港のはたす役割は

さらに大きくなる。
富山湾や日本海で獲れたおいしい活魚を入善ブランドで、市場を賑わすように早くなって貰いたいものである。

助金を交付している。
家の増改築で合併浄化槽の設置を検討している方は、住民環境課で相談してほしい。

**合併処理浄化槽
設置補助金
242万円**

町では、公共下水道や農業集落排水事業による下水道の整備事業を積極的に進めているが、まだ計画区域に組み込まれていない地域がある。この地域で合併処理浄化槽を設置する方に補

**児童手当支給費
566万円**

昨年6月1日の制度改正にともない、支給対象年齢が3歳までから未就学児まで引き上げられた。このことで増える手当ての財源である。

みなさんの請願

陳情のゆくえ

請願

- 緊急米対策の円滑な推進に関する請願書
..... 採択
- 国民本位の公共事業の推進と執行体制
拡充を求める請願 採択
- 国民の食料と地域農業を守るための
緊急対策を求める請願書 採択

議員提出議案

- 国民本位の公共事業の推進と執行体制
拡充を求める意見書 可決
- 国民の食料と地域農業を守るための
緊急対策を求める意見書 可決
- 「地震防災対策特別措置法」の改正に
関する意見書の提出について
..... 可決

三つの意見書は、地方自治法第99条の規定により、それぞれ政府関係機関に提出した。

12月14日・15日・18日の3日間
総務、教育福祉環境、産業経済の
常任委員会が開催され、付託案件
を審議した。

以下、常任委員会の要旨を報告
する。

常任委員会レポート

総務

入善町職員給与に関する
条例の一部改正やむ
なし

厳しい社会状況の中にあつて、勤勉手当の支給率引き下げは、現実に即した対応と評価する。今一度公務員はどうあるべきかを考え、全体の奉仕者として誠心誠意職務に取り組むことを切望する。

監査委員の費用弁償、実費弁償支給条例の改正は、監査委員の報酬引き下げであり懸念するものである。庁内においての監査体制が整っていることであるが、監査の重要性をよく認識され監査体制について、十分検討されたい。
長引く不況と今後回復の見込みが望めない中で町税収入が減少している今日、滞納者が年々増えていることは、入善町の財政にとつて大変厳しいところである。不心得な滞納者一掃に努力され徴収率アップに取り組むよう要望する。

教育福祉環境

町政執行の基本姿勢と町民ニーズに基づいた基本方針を明らかにすべき

保育所は、人手が足りないからパート職員で対応しようとか正規職員を配置すると高くなるから臨時職員で対応するという場当たり的な人事管理は再検討を求めらる。

人件費等の義務的経費の抑制策という理由から保育所の民間委託などという安易な方法を探るべきでなく、町の児童育成計画に沿った長期的な視野に立った職員の配置を求めらる。

また、児童館、児童センターの職員の職員配置は基準が明確になっていない。子供を預かるという観点から、町の職員配置基準を確立されたい。

武村福祉会館条例の一部改正を評価

会館条例の一部改正により使用料収入が減少することが予想できる。しかし、会館の果たしてきた意義と機能を考え、設置目的を達成するための改正であると考えらる。今後も、中心市街地活性化計画の中での位置づけや活用、維持管理のありかたなど前向きに検討されたい。

産業経済

直播き栽培の普及と
拡大にPRを

直播栽培普及拡大事業費150万円については、従来の直播き方法はトラクターであったが、今回は田植機による機械の導入に対する助成であり省力化、低コスト農業の推進に積極的なPRを期待する。漁港改修事業費1億5000万円余については、旧西防波堤70mを撤去し、漁港口を広げ漁船の出入りに対応する。

臨時列車による研修

旅行（2月2日～3日）

JR利用と駅無人化の悩みを持つ他市町を視察する目的で臨時列車の運行を計画し、30万円の補助をする。JR入善駅の業務直営の継続と営業時間の延長を求め、JR金沢支社に決議文を提出したところであるが、町民の安全確保と町の活性化には、町あげて運動しなければならぬ。JRの利用者をコンスタントに増やすには、駅近辺に駐車場を確保するなど駅近辺のインフラ整備を早急に進める必要がある。

平成11年度決算審査報告

収入の確保と少子高齢化時代に
即した効率的な事業執行を求む

町民税、固定資産税、国民健康保険税と税金ながら収納率の低下が見える。少子高齢化の波は大きく、若年層の就労形態の変化、依然厳しい経済状況は、財源確保に影響する。善良な納税者が納税意欲を減退させないよう、職員の一層の努力を期待し、財政基盤の強化に努められたい。

21世紀に夢をかける深層水は 町民参画の事業に

13年度には、取水ができないまま蓄養事業をスタートさせることになり、事業主体である漁協の合併問題を含め、不透明な部分が多い。非水産部門の企業誘致にむけ、用地取得に先行投資するなど、町の姿勢を示してほしい。

海洋深層水を利用した、医療健康推進対策の早急な研究が望まれ、国・県などの関係機関へ積極的な働きかけを望む。

補助金交付団体はそれなりの活動実績を残しているが、時代に合わない部分が見受けられる。各団体への見直しを図られたい。

健康交流プラザ「サンウエル」は、設計が非合理的で実際に使用してみると使いづらい構造ではないか。今後建造物に対し十分検討し、決定していただきたい。

高齢化に伴い福祉医療費などが増大している。新たな施設の建て替えは望めない。福祉事業の展開に既存施設の活用を考へるなど、町の財源に見合った運営をされたい。収入の確保、行政全般にわたる事務事業の見直しに努め、効率的な行政執行を望む。

今後、決算審査については担当係長からも説明を受けたく提案とする。

JR西日本へ議会決議文を提出

12月議会において入善駅のJR西日本による直営を求める決議を全会一致で可決、12月8日議長より金沢支社長に提出した。

本年4月から入善駅がJR西日本による直営は存続されたが、夜間早朝の管理が廃止された。町では夜間早朝の待合室の施設及び開錠や巡回パトロールを行い、利用者の安全を図ってきた。しかし、駅構内における利用者・住民の安全確保については、はなはだ不安なものがある。

去る11月15日付の新聞報道にもあったとおり、列車の遅れが利用者に知らされなかつたり、乗客が列車のドアに挟まれて入善駅で下車できず、糸魚川駅まで乗り越した事など多くの問題が発生している。これらの問題は、JR西日本が引き続き直営を続け、駅の営業時間を延長することしか解決する方法がないと考える。特にこれからは積雪期・厳冬期に向かい、入善駅の利用者の安全を確保するには貴社による管理は不可欠である。

ここに、入善町議会は、以下の項目の実現を求め決議する。

- 1 利用者の安全を守るため、夜間・早朝の時間帯にJR社員を配置すること。
- 2 今後も引き続きJR西日本による直営を継続すること。

平成12年12月5日

入善町議会

西日本旅客鉄道株式会社

執行役員

金沢支社長

徳岡研三様

第28回定例会

一般質問

未来を拓くか新幹線

「こ」が聞きたい・・・

町政を問う

14人の議員が登壇

12月議会の一般質問は、12日・13日の2日間おこなわれ、14人の議員が質問した。

21世紀を見据えた町政執行の基本姿勢と新総合計画、危機感つのる農政のあり方、起爆剤になるのか深層水事業等、多くの傍聴者を前に、激論が交わされた。

主な内容は次のとおりである。

(注)一般質問は、本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 市街地における野火及び火災予防について
- 介護保険と高齢者保健福祉について
- 町政執行の基本姿勢について
- IT時代に対応する教育方針について
- 土地改良区の統合について
- 宇奈月ダムと出し平ダムの排砂について
- にゅうぜん出前講座のあり方について
- 男女共同参画推進条例の制定について
- 小中学校の教科書の選定と教育方針について
- 水博物館構想の見通しについて
- 交通安全対策基本法について
- 海洋深層水について
- 2000年とやま国体終了後のスポーツ振興について
- 町が関係するイベントについて



心意気・無火災めざして

桃李小学校の設計はなぜ随意契約か

上野 等 議員

財政課長

設計者の資質、能力が施設計画に適していた

問 桃李小学校の設計業者が競争入札ではなく、随意契約にしたのはなぜか。

林財政課長 建設される建築物の質や経済効果は、設計者の創造性、技術力など総合能力によって大きく左右されると言わざるを得ない。町民の共有資産として、質の高い施設整備を実現するためには、施設計画に最も適した資質を有する設計者を選定することが極めて重要だと考える。設計者の資質、能力が加味されず、金額の多寡だけで選定される指名競争入札は、建築設計業務には馴染まないと言わざるを得ない。事業ごとに予算や施設の内容、目的

により設計者の選定方法を決めてきており、しばらく随意契約が続いたが、選定方法の特徴と設計者の資質や能力を調査検討した上での判断であったと思う。

問 ひばり野小学校の完成後に補修工事があったと聞いているが具体的にどのような工事だったのか。

米島教育長 給食室排水の逆流や雨漏りについては、大量の水を流した際、逆流する箇所があったため、その部分の勾配を強くする工事を行った。設計においては、特定の基準に基づき、図書作成し、細部については、現場の打ち合わせにより、調整を行ったと聞いて

おり、このケースについては、実際の使用により判明した不具合であると報告を受けている。

問 雑草など野火について、市街地の場合危険である。どのように指導しているか。また、石油ストーブの取り扱い不備による火災が発生しているが、厳冬の火災予防指導方針を伺いたい。

町長 町の火災予防条例で火災予防措置を厳しく規定している。今後とも町民に対しあらゆる機会を通じて無火災の啓蒙活動を展開していきたい。

町営バスは根本的な検討が必要

九里郁子議員

商工観光課長

増車に向け、13年度は

ジャンボタクシーで試験運行



供用開始が近い入善浄化センター

問 町営バスは、高齢者などによるこぼれているが、一台では無理がある。スクールバスも含めた町営バスの運行について、根本的な検討が必要である。新年度はどのように具体化するのか。
飛田商工観光課長 平成14年度にバスを増車し、路線の見直し、時間短縮を検討する計画である。13年度にジャンボタクシーによる試験運行を実施したい。

下水道の分担金・使用料の減免要綱をつくれ

問 小摺戸地区の浄化センターが供用開始となり、2001年9月には入善浄化

センターも供用開始になる。下水道事業の目的達成のためにも高齢者や母子家庭など低所得者の分担金や使用料減免の要綱を設置し、加入しやすくすべきである。
本多下水道課長 県内外の要綱、規則の実態を調査し、庁内の議論を進めたい。

低所得者の介護保険料・利用料は減免すべき

問 10月から65歳以上の被保険者の介護保険料徴収がはじまり、高齢者からは2週間で483件の問い合わせや苦情があったと聞いている。今後1年間は半額、来年10月からは全額徴収に

なる。年金生活者には過酷な負担であり、無慈悲というほかない。

新川地域介護保険組合の条例を改正し、低所得者の保険料や利用料を減免できる制度にすべきである。
第2号被保険者のうち国保加入者は、高い国民健康保険税に、介護保険料が上乗せされ、悲鳴の声があがっている。保険料軽減策をはかる考えはあるか。

全ての高齢者を対象とした高齢者保健福祉計画はいつたいどうなっているのか。
寺西健康福祉課長 低所得者の保険料や利用料の軽減問題については新川地域介護保険組合で検討中である。

高齢者保健福祉計画は町民からも委員を公募し、12

月に第1回目を開催した。本年度中に策定したい。

新総合計画は「町民が主人公」の姿勢で

問 新総合計画はすべての分野に「町民が主人公」の姿勢が貫かれていることが大切である。町長の基本姿勢は何か。
米澤町長 基本計画の施策の柱を「健やかで安心できる暮らしづくり」とした。

新年度予算編成と財源確保の基本方針を示せ

本 多 幸 男 議 員

町長 健全財政を維持し、新総合計画を 着実に実行する



8号バイパスと8号線を結ぶ幹線道路

問 米澤町長にとって一期目の集大成ともいえる新年度予算編成の基本方針は何か。入善町の21世紀将来像をどのように位置づけるのか。

町長 新総合計画で示した、エコネットタウン実現のため、環境保全、地域資源利活用、情報化推進、住民参加のまちづくりを掲げ、具

体的な目標を設定して新年度予算に反映する。

問 新年度の自主財源と依存財源の見通しと町税収入の動向分析を示せ。

町長 個人町民税は長引く不況により、所得の伸びは期待できず減収となる。法人もしかり、新年度大幅な増収とはならない。地方交付税は、国の交付税特別会

計での借入額が累増しており、上乗せ分がその償還に費やされることから、地方公共団体への交付総額は本年度より減額となるものとして予想している。

給与所得者を増やすことが税収増のキープポイント。

上田税務課長 個人町民税の収入額は平成10年度10億7300万円、11年度10億3000万円、12年度10億700万円と毎年減少して

いる。12年度を所得の種類別に見ると給与所得者からの税収は8億7200万円、全体の85・7%、商業、営業所得者からは4500万円、4・5%、農業所得

からは2000万円、全体の0・2%で生産者米価の引き下げ、転作面積の増大など明るい材料は見あたらな

い。また、町内企業など法人からの税収見込みは固定資産税8億5000万円、法人町民税は約2億円、計10億5000万円を見込んで

いる。給与所得が85%を占める入善町の現状では、

給与所得者の人数をいかにして増やすかが、キープポイントであると考え

問 外国からの輸入米を止めて、国民が1日、もう1個のおにぎりを食べれば休

耕転作をしなくて済むというデータがある。農業を基幹産業とする入善町の独自施策が必要ではないか。同時に、近年、国道8号バイパスなど幹線道路網の整備に依って土地利用のニーズが変化している。農、工、商、住、公共施設といったゾーニング計画を策定して優良農地確保と企業誘致工業ゾーンの設定を実施せよ。

町長 現在、町の状況は、農業用地が4065haで町全体の6割、宅地が711haで1割、残りが山林、道路である。今後、工業ゾーンを始め商業、住宅、農業など、地区の特色を生かし、土地利用のゾーニングを示したい。

問 町の活性化と雇用拡大を目指し優良企業を積極的に誘致するための具体的方針があるか。

町長 現在、水資源を活用するIT及び海洋深層水の関連企業を誘致しよう進めている。13年度に仮称「入善町企業誘致促進協議会」を設置し、県との連携による東京や大阪での企業立地セミナーなどへ積極的に参加する。

21世紀は黒部川扇状地にはぐくまれた町政を

広瀬喜代志 議員

町長

町政執行の基本テーマは人、土、水

問 21世紀を展望しての町政執行の基本理念をどのように考えるか。

町長 21世紀はグローバル化、高度情報化など世界の隅々まで押し寄せ、社会経済の変革、行政システムも大きな変革を求められると思っている。こうした時代の潮流を的確に捉え、まちづくりの明確なビジョンを示しながら様々な課題に対応していかねばと考えている。新総合計画では、環境保全、地域資源活用、情報化推進プラン、住民参加のまちづくりプランを定めて町民の幸せにつながる町政執行に当たっていく。

資質を備えていれば男女区別なく管理職に登用

問 男女共同参画時代における職員としての資質向上にいかに対応するか。

町長 男女雇用機会均等法では、男女差別を行ってはならないと規定されているところである。現在役場内では管理職員が一人もいないのが現状である。管理職の資質を備えた職員であれば男女に関係なく、管理職に登用していきたい。

問 リーダーとしての登用に際していかなる条件が大切であるか。

町長 決断力、統率力、指

導力、企画力、交渉力などの問題意識を持っている事。時代に対応できる自己決定、自己責任が求められている。

情報化の進展はハイリスク、ハイリターン時代

問 情報技術社会において何が問題であり、何を教育し、どんな人間を教育するのか。

教育長 情報リテラシーと言われるように、全ての児童生徒に情報化社会の便益を享受するための基礎的能力を養うことが大切である。これまで以上に「人と人と

あいなど「実体験を通じた学習」や「総合的な学習」が重要になってくるものと考えられる。小学校では「コンピュータに慣れ親しむ」、中学校では「コンピュータの扱い方や情報の活用」、高校では「コンピュータを道具として使い情報を効果的に使う」ことをねらいとした教育が必要であると思われまます。

※情報リテラシー
リテラシーとは読み書き能力のこと
情報基礎の上にパソコンの活用能力、その上にソフトやネットワークの活用能力が積み上げられた総体

情報技術を行政に生かす



今後さらに増加する 放棄田対策を問う

長谷友義議員

農業水産課長

管理委託や共同農園への
活用などが考えられる



土地改良区統合整備推進協議会

問 近年の農業情勢は大きく変貌し、余剰米対策としての減反政策が当然のごとく実施されている。米価は下がる一方で、平成5年には60kgあたり2万4120円していたが、現在は1万

5000円で9000円の値下げとなり、農業情勢は過去のように、国政と農家の要望が一致する時代でなくなった。黒字経営が赤字となり、富山県内では、放棄田が1100haで耕作率

の2.1%である。全国の5.1%より低い。今後放棄田が増えると思われる。町はどのように取り組むのか。

大角農業水産課長 今、全国及び県下においても、生産調整の強化、高齢化問題、米価の低迷などにより、耕作放棄田が増えている。

現在の農業情勢を考えると、本町においても耕作しない田が発生し、増えていくことが十分考えられ、憂慮している。耕作放棄田が増えれば、カメ虫などが発生し、病害虫の発生の源となり、週辺における水稲などの農作物に大きな影響が懸念される。

農産物被害防止の観点からも、耕作放棄田をなくすることが最も重要であり、その対策として集落内での調整と意識づくり、生産組織や担い手への管理委託の誘導、農業委員や営農指導活動を通じた指導の徹底、一坪農園、学校農園、集落内共同農園への利活用などが考えられる。

土地改良区の統合は
いつ頃か

問 平成9年4月に管内の10土地改良区の内、4土地改良区が統合し、入善中央土地改良区が設立されたが、まだ6改良区が以前のままで。統合問題は経費の削減による農家負担の軽減や維持管理など運営基盤の強化、また大型事業に対応できる組織づくりなどのためである。入善町の農業と農村を守り、豊かな自然環境を維持するには早期統合が肝要であると思う。どのように取り組むのか。

町長 これからの改良区の運営は維持管理や償還事務が中心となり、農家負担の軽減や維持管理体制の強化が、今後の課題と考えられている。6改良区が統合されると受益面積も増え、組合員数も5300人を超え、県内でも大規模な改良区が誕生する。維持管理体制の一元化や組織の基盤強化が図られる。14年4月の統合を目標としている。

危機的状況の農業を救うために 町長は先頭に立って行動を起せ

松田俊弘 議員

助役

どのような協力ができるか農家と十分検討していく



完成した深層水蓄養施設

問 政府がミニマム・アクセス米を輸入してから、主流通米の入札価格は平均5500円も下がっている。米作農家の95%が赤字で、このままでは日本の米作は崩壊してしまう。町の計算では、米価が1000円下がれば入善町全体で約2億7000万円の収入減になり、地域経済にも深刻な打撃を与えている。

町は、輸入米の制限と自主流通米の値幅制限、野菜や球根の緊急輸入制限を政府に求めていくべきである。本本助役 県選出の国会議員や政府に要請しており、今後も鋭意要望していく。問 コンバインが壊れたら農業を止めるといっている

農家が多い。農機具更新時の補助はできないか。助役 農家自らの経営努力によって困難を切り開いて頂きたい。

黒部川の排砂問題について

問 今後の排砂計画はどのように検討されているか。金沢大学の田崎研究室がヘドロの調査を行っているが、調査内容に対する町の見解はどうか。

町長 排砂評価委員会では「海域での土砂の動きのシミュレーション」や「長期の生物モニタリング調査が必要」などの意見があり、

排砂計画の改善の検討がされるものと思う。金沢大学の調査についてはよく承知していないが、今後の調査結果に大いに注目していきたい。

懸念の残る養殖・蓄養事業

問 蓄養施設については、刺し網漁師は既存のもので十分であるとしている。新しい蓄養施設は定置網漁師の強い要望があつてきたはずだが、定置で獲られる回遊魚は水槽の中では死んでしまうという。また、船の構造も変えなければならぬ。本当に利用者

の見込みはあるのか。大角海洋深層水課長 魚種にはこだわらず、付加価値が上がるものであることがポイント。船については、近い将来の更新時に付随する構造が見られると考えている。

問 漁師が養殖事業を行わなければ、町の取水事業も出来なくなるとの話が広がっているが本当か。助役 養殖・蓄養は、取水事業に対する国からの補助金の前提になっている。意見 蓄養も養殖も町が無理に押し付けているように感じる。また、漁業振興のためには、単に施設だけでなく、国、県、町の継続的な支援が必要だ。

自立者版ケアプランの 作成が必要

大橋 美椰子 議員

町長

積極的に行うよう指導する



元気が一番、健康づくり教室

問 65歳以上を対象とした介護予防のメニュー（給食、家事援助、廻ほう予防など）を個人に適合した形で利用できる計画作成が必要。またシルバーサロンの開所を求む。

町長 自立者が要介護になるのを防ぐため、来年度から国の方で作成費用が支払われる。在宅介護支援センターに自立者のケアプラン作成を積極的に行うよう指導する。要介護者に近い方への対象は重要であり、プランの作成は非常に有効であると考えている。

問 介護保険は40歳以上の全ての国民が強制加入する保険制度である。町が提供できるサービスの水準が違うので一律ではない。我が町の保険料はいくらか。5段階を基本に設定とあるが、それぞれの保険料はいくらか。

町長 新川地域介護保険組合における基準額は、月額2800円に設定。12年10月から13年9月迄、国の特別措置で半額を納めていただいている。13年10月からは本来の保険料になるため、それぞれ現在の2倍の納入となる。

意見 「にゆうぜん出前講座」 職員が出向いて説明をするという制度がスタート、町民の要請も健康、環境問題に殺到する可能性もある土・日勤務体制もあり、担当者への配慮を願う。

サンウェル内にシルバースalon設置の要望も多く、交通手段を確保し、行政指導の施策をぜひ実現させていただきたい。

現在の介護保険料 13年10月から2倍

問 介護保険は40歳以上の全ての国民が強制加入する保険制度である。町が提供できるサービスの水準が違うので一律ではない。我が町の保険料はいくらか。5段階を基本に設定とあるが、それぞれの保険料はいくらか。

町長 新川地域介護保険組合における基準額は、月額2800円に設定。12年10月から13年9月迄、国の特別措置で半額を納めていただいている。13年10月からは本来の保険料になるため、それぞれ現在の2倍の納入となる。

意見 「にゆうぜん出前講座」 職員が出向いて説明をするという制度がスタート、町民の要請も健康、環境問題に殺到する可能性もある土・日勤務体制もあり、担当者への配慮を願う。

サンウェル内にシルバースalon設置の要望も多く、交通手段を確保し、行政指導の施策をぜひ実現させていただきたい。

IT革命と言われる中で情報格差をなくし

町の方向性を具体的に示せ

東 狐 和 議員

町長

光ファイバーを利用したCATV網の早期整備を目指す



若者に負けないぞ。IT講習会

問 ケーブルテレビ（CATV）をどうするか。

町長 「IT革命」はインターネットを中心に情報技術の急速な進展を続け、国をあげての知識創発型社会の実現化に動いている。入善町は「入善町情報化計画」を策定し、光ファイバーを利用したCATV網の早期整備を目指している。具体的に

- ①在宅健康支援システム
 - ②一人暮らしの安否確認
 - ③在宅医療支援システム
 - ④防災、災害情報システム
 - ⑤町独自の行政情報の提出
- 県内では呉西全域に整備が進み、情報化の西高東低の格差が生じている。早急にCATVに取り組み整備を進めたい。

問 くらしと防災情報をどうするか。

町長 現在は防災行政無線によるところが大きい。的確な情報の即時性を提供のため戸別受信機の普及につとめたい。

環境保全について

問 酸性雨などの対応策を検討しているか。

大沼住民環境課長 酸性雨は森林や農作物の枯死、建造物の損傷など被害をもたらす深刻な問題である。富山市などPH測定している。入善町でも測定の方角で検討したい。

教育問題について

問 学校の図書館司書導入の実施についての考えは

教育長 各学校に専任の司書教諭を配置したいが財源上困難である。県教委に対応をお願いしている。司書の資格をもった教諭を一人以上各校に意図的に配置して図書館教育の充実に努めている。

子供議会開催について

問 21世紀を担う青少年が政治や社会に関心をもち学ぶ場を提供しては。

教育長 今後「総合的な学習時間」の中で、議会傍聴するなど政治や社会への関心を高めさせたい。

問 男女共同参画推進条例の制定について。

町長 新総合計画の中で条例の制定を計画している。町としても地域の実状にあった条例を制定し、実効性を高めるため、男性中心の職場意識、ライフスタイルを見直し各地区の共立会議等を通じ積極的に町民の声を聞き条例の実現に努力する。

問 入善町の職員の平均給与の男女格差はいつの時点で平等になるのか。

鬼原総務課長 男性の管理職が多いので平均給与が高いが今後女性も管理能力を高めて欲しい。

町の教科書（歴史）選定は どのように行っているのか

谷口一男 議員

教育長 採択地区ごとに選定協議会を
設定し決めている



入善教科書センター

問 最近の青少年の事件、親が子供を虐待死させた事件等を考えたとき、問題は沢山あると思うが一つには、日本人でありながら日本という国に誇りを持っていない教育が根っこにあるのではないか。特に歴史教科書に問題がある。国を愛し、郷土を愛する心を教えるのは歴史教育だと信じる。教科書採択下新川地区での教科書図書選定審議会の構

成はどのようになっているか。
教育長 法律に基づき県教育委員会では県内9つの図書採択地区を設け、入善町は下新川地区に属している。そこで、地区教科用図書選定協議会を設置し、各市町村の教育長が任命した調査員を置き、県の指導、助言、援助を受け、地区調査員の意見を聞き、地区ごとに種類の教科書を選定す

る。また、採択の決定までは、公平、厳正に行う必要から、委員や調査委員名、採択の経過は公開していない。歴史教育の目標は、日本国民としての自覚を持ち、社会人としての人格の形成にあるととらえている。教師は教科書を教えるのではなく、活用するという立場で授業を進めているものと思っている。
問 国体開催の教訓を今後町のスポーツ振興にどの様に活用していくのか。
町長 国体で取り組んできたことを最大限に生かし、バレーボール競技を核として、幅広いスポーツ振興策を講ずる一方、新総合計画の中で、施設設備の充実とあわせて時代のニーズに応じた振興策が必要と考えている。

地域交流ホーム（ふれあい温泉）の今後の対応はいかに

問 近隣に健康施設や温泉施設等ができたこともあるが交流ホームの利用者が年々減少し、またソフトエネルギーシステム株式会社より

新たな温泉の有料化の陳情がなされている。
町の唯一の温泉であり存続のためにどの様に対処していくのか、また近くにオートキャンプ場を設置したらどうか。
財政課長 12月に運営委員会が開かれ経営安定の為に現行一回350円を50円値上げし13年4月より実施する事に決定し、利用者の理解を得られるよう運営主体の舟見寿楽苑に要望した。温泉の有料化については近く交渉にあたる。
また、温泉を利用した三世代交流のふれあいの場として、大規模な修繕などがある場合には補助をしていく。オートキャンプ場については運営委員会や議会と今後十分協議検討し考えていく。

農業公社は一日も早く設立すべき

五十里 隆 章 議員

町長

一日も早く取り組みたい



にぎわった「まつりんびっく」農業祭

問 農業の現況をどのように受け止めているか。また、農業振興策について、どのように考えているか。

町長 農畜産物の市場開放、輸入自由化、米の豊作による米価低迷など、厳しい環境にあると認識している。生活と密接にかかわる多面的機能を有する生命産業であり、地域資源を活かした農業を構築したい。

問 海洋深層水を利用した米の食味向上、生ごみ等の利活用による堆肥化と有機農業への取り組み、特産物の開発と販売などの施設整備「ZIBA館の建設」「グリーン・ツーリズム」や「クラインガルテン」など、交流活性化事業に取り組む。農業公社については平成13、14年度を調査期間とし、15年度に「生命産業法人」を設立したい。

問 農業公社は一日も早く設立すべきだ。再度答弁を求めます。

町長 中核農家の皆さんや農協とも協議し、一日も早く取り組みたい。

問 水博物館の現状と今後について。

町長 新川地域全域を博物館とみなし、野外体験型博物館とする。場所、事業規模、事業費は平成13年度に策定される基本構想で明らかになると考える。

問 水資源の保全、水との共生を図るまちづくりを努めたい。

問 県が事業主体と聞いていたが、方針が変わっているのではないか。総合計画では水博物館構想が示されていない。どのように取り組むか。

町長 水博物館をどのような形で町がとり入れるか、経緯をみたい。

助役 水博物館は是非実現したい。今後も努力していきたい。

問 下水道事業に係る今後の対応について、会計検査院の指摘による計画変更は。下水道課長 国から事業の見直し、コストの縮減が求められている。

問 浄化センターの建設では18%余りコストを縮減した。環境保全力があり汚泥処理方式を変更したことが要因である。新屋地区の浄化センターは建設しない。五十里地区の浄化センターにすぎない。野中、舟見地区も同様の体制で考えている。

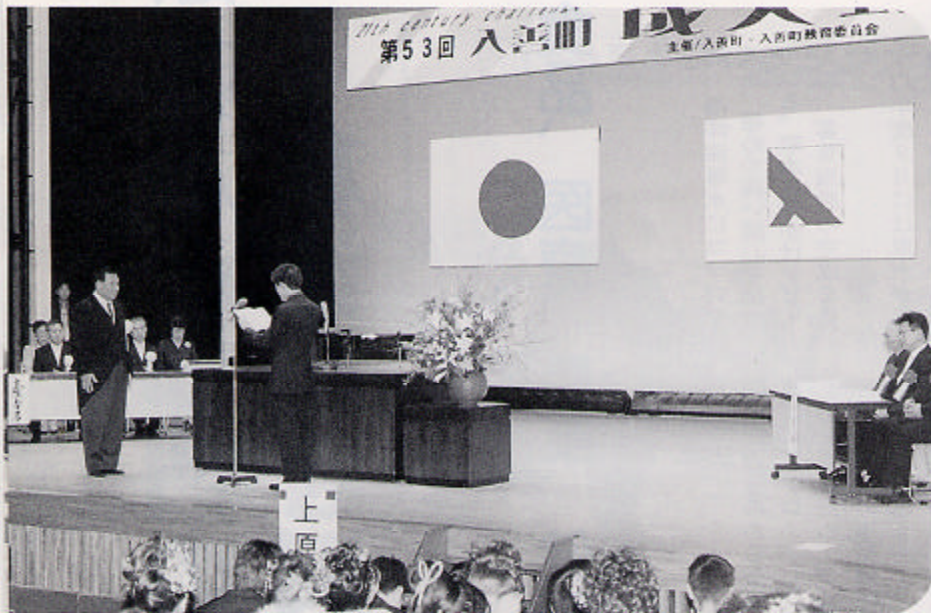
問 維持管理は民間と町が協力して行う。浄化センター完成後、3年間でつなぎこみをお願いしたい。

交通事故多発！安全対策 基本法の取り組みを示せ

元 島 正 隆 議 員

総務課長

交通事故のない町づくりに
鋭意努力する



新世紀を担う若人

交通事故撲滅対策は

問 事故が多発している現状に対し、町はどのような対策を講じているか。
総務課長 長寿社会の進展に伴い、高齢者の事故が多くなり、その防止が交通安全を進める上で重要な要素となっている。交通安全対策基本

法に照らし合わせ、入善町交通安全対策協議会を設置し、交通安全の普及啓発の推進、高齢者対策、若者対策、幼児の対策、交通環境の整備など入善警察署、黒東交通安全協会、区長会、婦人会など各種団体と連携をとりながら今後も積極的に活動を進めていく。

第3次覚せい剤乱用期「薬物のない町」の取り組みは万全か

問 薬物から青少年や町民を守るため、どのような予防活動をしているのか、また現状はどうか。
教育長 平成11年度、入善署管内で薬物乱用、所持などの事犯は17件。入善町の小中学校での事犯等はない。しかし、携帯電話の普及、インターネット、車社会などによって交友関係が広がっている現状からして、事件がないからと安心できない問題であり、薬物乱用のない町づくりにと入善警察署薬物乱用防止広報車を呼んでの講習、防犯組合、

である。思いやりの心と同時に、自らを律する心の指導強化を図ることが今後の心の教育に課せられるところである。

農業生産の基本である土地利用計画の策定は

問 町全体ゾーニングマップ計画の策定がないため、農業、商業、工業、教育文化施設の充実が図られていない、将来計画はあるのか。
大木企画広報課長 農業、商業あるいは工業ゾーンの土地利用に対する町全体マップの作成は新総合計画で取り組んでいる。早急に策定する考えである。農業面において、基幹産業である農業をどう守るか、優良農地をどう確保していくかが基本であり、農業生産の維持強化に向けて、農用地の確保と多面的な利用という観点から、バランスのとれた入善町らしい土地利用計画は急務であり、推進していく考えである。

育成に努めていく。
中島教育委員長 心の相談員として多くの少年と接してきたが、子どもが薬物に逃げ込まざるを得ない環境、心境など分析し、対応することが肝要である。子どもだけを追及して、その背後にあるものが何かということとを分析していないのが実態であり、親も子も社会も、みんな考えていることが大事

海洋深層水非水産部門の

利活用を問う

山下 勇 議員

町長

食品、医療、農業、健康増進などで検討



漁業振興をねがった大漁祈願祭

問 海洋深層水にロマンを求め、極めて高い関心を持っている。取水に先がけアピール塔、蓄養施設の完成を見た。

13年度9月には取水が開始されるが、非水産一日720トンの深層水をどのように利活用するのか。

町長 本年6月、県水産試験場から民間企業への分水が開始され商業利用への道が開かれたところである。食品、医療、農業、健康増進の幅広い分野での利用を検討したい。利用に対する問い合わせも受けており、深層水を利用した飲料水、食塩製造などとなれば取水池、周辺の立地が期待でき

る。

問 関連性のある企業に積極的にアプローチし、企業進出を促すため、用地を先行取得しての事業戦略が必要と思うがどうか。

町長 「棚からぼたもち」は落ちてこない」を念頭に置き、企業頼みではなく積極的に町から行動を起し、連絡道路や産業インフラの整備を行うほか、企業用地の先行取得についても事業者の意向を踏まえながら企業立地推進策を講じたい。

問 官・民・学一体になった研究開発機関を誘致する考えはないか。

町長 県の試験研究機関を中心に国の研究機関大学・

民間企業などと連携しながら、電気分解による農業分野への応用、海洋療法をはじめとする健康増進の医療分野などの実用化に向けて誘導を図っていく。

**養殖事業は三漁協
合併が前提、進捗
状況は**

問 事業の前提である三漁協の合併であるがどこまで話し合いが進んでいるのか。漁業者の意思統一を図り本事業の成功のために指導性を発揮して頂きたい。

町長 各漁協において、合併に対する組合員の同意や協同組織の強化のために意

思統一に時間を要することから合併日が多少延びているところであり、急がなければならぬ。三漁協合併事前協議会が開催され懸案事項の詰めが行われており、町としても漁業者の基盤強化を推進し、水産業の振興につながるよう支援をしていきたいと考えている。

バレーボールを核に スポーツ振興を

西尾政巳議員

町長

バレーボールを中核的スポーツに 位置づける



21世紀ヘカケル

問 2000年とやま国体は、入善全地区あげての絶大な応援により大成功に終わったが、国体終了後のスポーツ振興策はどうか。

町長 バレーボールの醍醐

味を十分堪能されたと思う。本町スポーツ水準のレベルアップにつながる大会であった。今回の貴重な経験を生かし、バレーボールを本町の中核的スポーツとして位

置づけたい。

問 農村滞在型観光と将来構想について問う。

町長 都市と農村の交流にもっと力を入れるべきとは、もっともであり、今後は自然体験型のソフト事業を実践していきたいし、田畑のオーナー制度も導入したい。

問 山の荒廃防止について。

町長 外材利用の拡大、地場材価格の低下、担い手不足などで荒れている。計画的な作業道の整備をしたい。

問 海洋深層水を利用した海洋温度差発電が今後有望とのことだが。

町長 北陸電力とも情報交換しながら温度差発電研究など、可能性について検討していきたい。

問 深層水事業を新しいビジネスとして確立するには。

町長 その成分や性能を化学的に分析し公開したい。

行財政改革への 取組みは

町長 町税の伸びは期待できない。各課の予算要求に対し、経常経費の10%削減を指示したところである。

問 中央省庁の再編に合わせ、役場内の課の統廃合は。総務課長 現在は考えていない。

決算からみた 町の状況は

問 平成11年度決算状況を近隣町と比較してどうか。

町長 公債残高は入善町約113億円、朝日町90億円、宇奈月町45億円、標準財政規模の近い小杉町、福光町と比較して残高が多いとはいえない。

問 財政の硬直度を示す經常収支比率はどうか。

町長 入善町は76・7、朝日町77・9、宇奈月町71・3で、県下平均75・7より若干数値がよくないが、差はない。

問 人件費が3町で一番高いが、理由はなにか。

町長 職員の年齢構成の違いや保育所、学校職員が多いためだと考えている。

問 投資的経費は入善町は最も低いのか。

町長 人件費や投資的経費についても十分に配慮し、町民サービスの向上と健全財政運営に努めていく。

町で企画するイベントの

現状と将来構想は

上田 健次 議員

町長

外部の情報発信を積極的に図る

問 入善町のイベントの現状と今年初めて商工会・漁協・J A入善町の3団体同時のイベント「まつりんびっく」の結果は。

町長 「まつりんびっく」は「お客さんの取り合いになるのではないかと不安を抱える向きもあったが、町内だけでなく、町外からもお客さんを引き込むような発想がこれからは必要になってくるのではないかと考えている。将来的には、農業、工業、商業、水産業などが一体となった「産業まつり」などの開催も視野に入れていきたい。来年度から2年間で策定を予定している「観光ビジョン」では、交流人口をいかに

増やすかに主眼を置いて編集する方針である。郷土芸能はもちろんのこと、新しいイベントについても、外部への情報発信を積極的に図りながら、自分たちが心底楽しむことができるようなイベントの構築に向けてアイデアをいただきたい。

入善地区公民館の複合施設構想はあるか

問 「まちづくり会社」設立の進捗状況と旧中央公民館跡地利用による入善地区公民館の複合施設構想の考えはどうか。

助役 TMO設立の準備の年と位置づけ、6月には商

工会や商店街の人たちが中心となって、30名からなる「街づくり懇話会」を組織し、平成14年度のTMO設立に向けて体制づくりを始めていく。具体的な事業として

- ① 中小企業総合事業団が主催する月2回の研修。
- ② 「まつりんびっく」でのフリーマーケットの出店。
- ③ 12月17日の朝市「軽四トラック市場」の企画。
- ④ 街路灯の整備や空店舗のカラーデザイン化、街路灯への旗の設置の企画、などを行っている。

中央公民館跡地の利活用については、入善地区公民館の機能を持たせた複合施設の提案もいただいている。

今後の検討課題だと思っており、平成13年度に健康センターを取り壊し、国や県の補助を受けて「TMO構想」を策定し、平成14年度の「まちづくり会社」設立に向け、皆さんの英知を結集していきたい。農協マーケットの存続問題や財源の確保、さらには、消費者の動向調査、店舗の採算性など複雑な問題を抱えているが、夢物語ではない、現実的な青写真を描くことが必要だと考えている。

定着させたい朝市フリーマーケット



10月から
12月まで

町発注工事入札結果表

(単位：千円)

工 事 名	請負金額	予定価格	落札率 (%)	入札 回数	落 札 業 者	備 考
一 般 工 事						
県単農業農村整備事業青島地区道路改良工事	8,900	9,085	98.0	2	モリタ建設㈱	
県単農業農村整備事業青木上村地区道路改良工事	7,500	7,596	98.7	1	㈱泉建設	
県単農業農村整備事業春日地区水路改修工事	8,800	8,950	98.3	2	㈱草建工	
県単農業農村整備事業中坪地区道路改良工事	7,700	7,858	98.0	1	モリタ建設㈱	
県単農業農村整備事業日吉地区道路改良工事	6,250	6,600	94.7	1	㈱ノザワ	
県単農業農村整備事業青木地区水路改修工事	6,900	7,119	96.9	1	㈱泉建設	
県単農業農村整備事業袖田地区道路改良工事	9,150	9,357	97.8	1	㈱草建工	
県単農業農村整備事業下山地区水路改修工事	9,200	9,495	96.9	1	㈱木村造園土木	
裏上飯野臼森線改良工事	5,800	5,966	97.2	1	井田建設	
横山長島線消雪配管工事	8,500	9,145	92.9	1	㈱本田工業	
入善町郷土芸能練習場(仮称)新築工事	28,800	34,452	83.6	1	㈱ノザワ	抽選
農村環境改善センター改修工事	8,250	8,405	98.2	1	㈱島田工務店	
東町線外1路線改良工事	5,600	5,636	99.4	2	㈱巖田組	
上野上川原線外2路線舗装工事	11,000	11,196	98.2	2	此川建設㈱	
墓ノ木小杉線舗装工事	7,100	7,373	96.3	1	小川建設工業㈱	
墓ノ木小杉線改良工事	11,700	11,831	98.9	1	モリタ建設㈱	
平曾川国道線改良工事	25,800	30,425	84.8	1	笹島建設㈱	
入善海洋深層水取水施設整備工事	721,050	848,260	85.0	1	清水建設㈱	制限価格以下5
野中西中線改良工事	6,100	6,318	96.5	1	㈱木村造園土木	
左近橋上舟川橋線水路工事	6,400	6,540	97.9	1	㈱橋本工業	
高島芦崎2号線改良工事	5,200	5,380	96.7	1	㈱島田工務店	
海洋深層水アピール看板設置工事	3,750	4,667	80.4	1	㈱ニイカワ広告社	
島中央線外2路線水路工事	1,800	2,085	86.3	1	㈱愛場農園造園土木	
上野上川原線外7路線交通安全施設工事	3,450	3,486	99.0	2	日本交通興業㈱	随契
下山八幡社駐車場整備工事	1,690	1,836	92.0	1	早川工業	
入善小学校外壁クラック修繕工事	2,120	2,174	97.5	1	丸 協	
計	928,510	1,071,235	86.7			
特 定 環 境 下 水						
入善処理分区 第97工区工事	27,000	28,275	95.5	1	前 田 組	
入善西部処理分区 第28工区工事	34,000	34,882	97.5	1	㈱杉沢組	
入善西部処理分区 第27工区工事	14,600	14,631	99.8	2	㈱飛鳥興産	
入善処理分区 第96工区工事	25,500	26,494	96.2	1	大勝建設㈱	
入善西部処理分区 第26工区工事	17,500	17,994	97.3	2	㈱坪野組	
県道青木吉原線外2路線舗装本復旧工事	14,300	14,793	96.7	2	㈱水見土建	
入善西部処理分区 第29工区工事	8,100	8,223	98.5	1	㈱橋本工業	
吉原地区消雪配管復旧工事	4,700	4,804	97.8	1	㈱上田管工事工業所	
計	145,700	150,096	97.1			
農 業 集 落 排 水						
小摺戸地区管路工事第1-33工区工事	32,800	38,088	86.1	1	笹島建設㈱	
小摺戸地区管路工事第1-34工区工事	20,090	25,116	80.0	1	㈱高沢組	制限価格以下2
小摺戸地区管路工事第1-35工区工事	32,000	39,524	81.0	1	テラノ工業㈱	
県道小摺戸芦崎線舗装本復旧その2工事	9,200	9,652	95.3	1	共和土木㈱	
小摺戸地区県道新屋上野線舗装本復旧工事	9,100	9,515	95.6	1	小川建設工業㈱	
小摺戸地区黒東合口用水管理道路舗装本復旧工事	13,000	13,122	99.1	1	桜井建設㈱	
計	116,190	135,017	86.1			
公 共 下 水 道						
入善処理分区 第92工区工事	30,500	31,684	96.3	1	真岩土建工業㈱	
入善処理分区 第93工区工事	22,000	22,768	96.6	1	㈱宝泉工務店	
入善処理分区 第94工区工事	39,500	43,830	90.1	1	寺林建設㈱	
入善処理分区 第95工区工事	29,600	31,741	93.3	1	高田建設㈱	
入善処理分区 第99工区工事	18,500	18,769	98.6	1	五十里建設	
入善処理分区 第100工区工事	29,000	30,284	95.8	1	道又建設	
入善処理分区 第101工区工事	14,400	14,842	97.0	1	中山建設㈱	
県道上飯野入善停車場線舗装本復旧工事	3,400	3,527	96.4	1	本田建設㈱	
計	186,900	197,445	94.7			
総 計	1,377,300	1,553,793	88.6			

各種団体からひとこと



あらいや住吉太鼓について

あらいや住吉太鼓保存会

会長 寺崎 春夫

あらいや住吉太鼓保存会は町新屋にある住吉社に、太鼓を寄付していただいたことがきっかけとなり結成されました。そして地元青年会が中心となり、石川県の松任市にある浅野太鼓へ指導を受けに行き、練習を重ねております。

平成6年8月には、住吉神社興奉納式典におきまして、初披露を行うことが出来ました。名前についても、この住吉社からとっております。現在の会員は、大人子供を含めて約30名となっております。

ます。結成以来、色々なイベントを経験させていただき、2000年とやま国体におきましては、入善会場の開始式で演奏させていただくことが出来ました。

普段の練習は、会長宅の納屋で行っておりますが、やはり音の問題という悩みを抱えておりました。専用の練習場があればと思っておりましたところ、南部コミュニティセンターに併設して、郷土芸能練習場（仮称）が建設され、春にオープンするということになり皆さんとても喜んでおります。この施設は、我々太鼓をたく連中だけでなく、カラオケやバンド演奏等幅広く使えるとても良い施設ではないかと思っております。

元新屋地区には、町の無形文化財に指定されております獅子舞があります。我々は、この歴史のある獅子舞と共に住吉太鼓の方にも力を入れて、地域の活性化を図っていきたくと考えております。

傍聴席からひとこと



柏原 敬子
(八幡)

毎年開かれる女性議会に参加するようになってから仲間と一緒に、町議会を傍聴する機会が増えました。

町の広報や議会だよりも以前よりは関心をもって、しっかりと目を通すようになり町政に対しての理解も一段と深まったように思います。

12月議会では14名の議員が質問され、それぞれの立場から身近な問題や将来に向けての計画など、現場を見、データ

を集め、住民の声を聞き、タイムリーで的確な意見や質問が多かったと思えました。町当局担当者の答弁も解り易く、農業、教育、深層水など取り組みがなされていることを知ることができました。

21世紀新総合計画に向けて悔いのないよう徹底的に議論をされ、これからも大胆、且つ細心に、そしてめりはりのある町政を期待しております。

編集の窓

◆新世紀の幕明けを迎えた。

100年前、私達の先輩が20世紀を迎えた頃、世情はどのようなに動いていたのだろうか。入善町史をひも解いて見た。

◆八尾町で274戸、高岡市で3614戸を焼く。さらに出町、青島村、氷見町、石動町で計735戸も火災で焼失している。

◆治安警察法公布。伊藤博文首相、内閣不統一で辞表提出。米価暴騰、全国の米穀取引所が売買を停止等、世情が乱れ、1904年の日露戦争へと突入した。

◆災害を防止し、戦争のない、「平和」の大切さを歴史に学びたい。

議会広報編集特別委員会

- 委員長 本多 幸男
- 副委員長 元島 正隆
- 委員 大橋美椰子
- 委員 谷口 一男
- 委員 板川 清治
- 委員 九里 郁子